

# チェッカーの視点を養う特許英語ワークショップ [On Line]

このワークショップでは、米国出願向け「特許請求の範囲」の英語と日本語を練習問題で体験して、翻訳のチェック担当者が見抜き指摘するポイントを把握します。

特許案件を英語で外国出願する際、技術者自身でその英語版を書かない場合には、文書の作成と提出に、翻訳者、知財/外国出願担当者、現地代理人などの手を経ることになります。

外国出願用明細書の翻訳は、技術者が精魂込めて作成した明細書およびクレームを第三者が他言語にする段階であり、その案件のその後のヒストリーを大きく左右する可能性があります。

翻訳には、技術内容の理解力、日本語・英語の読解力と言語力、出願先のルール of the knowledge などがが必要です。仕上がった翻訳を吟味する“チェッカー”は、これらのスキルを備えたプロフェッショナルであることが求められますが、日本と米国とでは言語体系もクレーム構造も異なるため、日本語ネイティブである私たちには心許なさが付きまとうのも事実です。

しかし、もし外国出願に携わる人々がチェッカーと同様のスキルを持つことができれば、一貫した協力体制が築かれて、強い権利の迅速な獲得につながるでしょう。翻訳表現の良否の判断、日本語へのフィードバック、自発補正の提案、次案件への改善などが体制の中で無理なく行われるからです。

このワークショップで、英文サンプルクレームのインプット、その対応日本語の考察、日本語からの英語への試訳、US出願に向けたチェック作業をしてみましょう。そして、原文の書き手が意図した発明を有効かつ的確に英語で表現するための留意点を、一緒に確認しましょう。ご関心があればどなたでもご参加いただけます。

## 【スケジュール】

**第1回：令和4年10月18日（火） 13:30～14:30**

- ・プレアンプル-ボディの構成
- ・エレメントツリー
- ・隠れエレメントと隠れMPF

**第2回：令和4年11月22日（火） 13:30～14:30**

- ・エレメントを的確に表現する -1-

**第3回：令和4年12月13日（火） 13:30～14:30**

- ・エレメントを的確に表現する -2-
- ・チェック作業に挑戦



申し込みフォームはこちらから

## 開催方式

※Zoom Meetingを利用したオンライン形式で開催します。参加者の顔出しはせず、チャット機能を活用し、講師への質問を受け付けます。

事前にご利用のPC・スマートフォン等で、ZOOMがご利用可能かご確認ください。

※オンラインセミナー終了後、1ヶ月間オンデマンド配信（有料）を行います。

開催当日ご都合が悪い方は、オンデマンド配信をご利用ください。

## 講師

**中村 尚子 氏**（株式会社STEAM ENGLISH 代表）

## 受講料

**【1回あたり】会員3,000円 一般6,000円（消費税込）**

※ 2名以上お申込みの場合、2人目から50%引き（大阪発明協会法人会員のみ）

①(1)開催前3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできませんので予めご了承下さい。

(2)受講料請求書は、講座開催日の10日前頃に郵送いたします。

(3)他府県発明協会会員でも会員料金で受講できます。

## 申込先

一般社団法人 大阪発明協会 (<http://www.jiiiosaka.jp/>) kensyu@jiiiosaka.or.jp

電話 06-4792-7621 FAX 06-4792-8781

